

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	前田 和文議員	<p>1 地方創生交付金事業の計画策定について</p> <p>2 消防費負担金の今後のあり方について</p>	<p>(1) 地方創生交付金事業の、計画策定における基本的理念について改めて伺いたい。</p> <p>(2) 事業計画の骨子を、中長期の施策を含め具体的に示されたい。</p> <p>(3) 事業推進にあたり、首長の役割についてどのように考察されているのか伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐湧水消防組合への負担金の過去5年間の推移と、消防組合体制が現状維持の場合、今後10年程度の負担金の見通しについて示されたい。またこの負担金に対して、交付税措置はどの程度なされているのか示されたい。</p> <p>(2) 人口減少の歯止め困難な中、扶助費（民生費の義務的経費）は、大きな割合を占めている。長期的視野に立った消防組合体制の在り方・市民の安全確保が望まれる。見解を伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	森田 幸一議員	1 本市の職員採用状況について 2 新納忠元公の墓碑整備について	<p>(1) 職員採用試験について直近3年間の応募状況、採用状況について試験区分別に伺う。</p> <p>(2) 直近3年間の応募者・採用者で、市内在住者、市外在住者の人数を示されたい。</p> <p>(3) 企業誘致が厳しい中に、本市の若者が優良職場として本市職員を目指している人が多い。市外からの受験者は、試験の成績は優秀な人が多いと思うが、今後求められる人材は、地域に夢を抱き、腰を据え、地域づくりができる人である。これから地方の疲弊、限界集落が進む中、集落を守る為にも、地域づくりができる人材を、職員の選考材料に入れるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) スポーツの分野において、国体・県体と大きな成績を収めた本市の若者は、精神力、忍耐力、物事にチャレンジする意欲を市政に十分に発揮してくれると思うが、その成績・成果等を組み入れ、スポーツ特別枠採用の創設はできないか。</p>	市長	
			<p>(1) 文武両道等の武将を敬慕する人達が墓参りに多数訪れるようであるが、墓碑の周辺が散乱している。内外を含めて整備はできないか。</p> <p>(2) 伊佐市を訪れた観光客が、曾木の滝などのルートで墓碑に立ち寄ると思うが、駐車場が狭いので、墓碑の西側に駐車場の整備はできないか。</p>	教育長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	岩元 克頼議員	1 伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について	<p>(1) 伊佐市総合振興計画審議会による、伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に関する調査等の進捗につき示されたい。</p> <p>(2) 上記審議会では、兵庫県の豊岡市を調査しているが、概要を示されたい。</p> <p>(3) 地方への新しいひとの流れをつくる移住について、どのような取り組みをしているか、又、これを拡大するために新たな対応がなされるか。</p> <p>(4) 伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略等調査特別委員会で企業訪問をしたが、市内企業では従業員の確保に大変苦勞されているようだ。これについて、市としての対応があるか。</p> <p>(5) 地域経済分析がおこなわれていると思うが、以下の点につき示されたい。 ア. 本市の産業の特性 イ. 本市で雇用吸収力があって、市民の所得増加に寄与している産業は何か。 ウ. 伊佐市の域外で稼いでいる産業は何か。 エ. 伊佐市内では、各産業の生産が取引を通じて市内に波及しているか。</p> <p>(6) 地域産業関連表の作成が行われているか。又これに関する見解を示されたい。</p>	市長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	1 伊佐市にかつて埋設された枯葉剤の現状とこれからの対応について	<p>(1) 1970年代に埋設された枯葉剤 2・4・5T 剤をどう感じて認識しているのか。</p> <p>(2) 1970年代に大口間根ヶ平と山野小川内小字鬼神の2か所に枯葉剤が埋設されたが、現在の状態はどうなっているのか。</p> <p>(3) 台風15号が8月25日に通過後、3か月経ちましたが、伊佐市として2か所ともいつ頃確認をされたのか。</p> <p>(4) 埋設された当時の状態について、お聞きしたい。</p> <p>(5) 湧水町吉松中津川に埋設した場所について10月30日付けで鹿児島森林局より、2・4・5T 剤の点検について、費用をかけた報告書がきているが、伊佐市も1998年埋設地リスト公表後、17年以上時が経っているが、点検周辺の分析の要望を出された経過はないのか。</p> <p>(6) 湧水町が点検を要請しましたように、埋設して時も経っているが、酸性雨、地震、台風と環境及び異常気象も違っているため、宮之城営林局を通じて、森林局に調査点検をして報告してもらう事を要望してはどうか。ダイオキシン及び2・4・5T 剤の処理技術も確立してきているので処理して頂きたいが、どう思うか。</p>	市長	
		2 地方創生伊佐市総合戦略の展開にむけて	<p>(1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）タイプⅠ、タイプⅡの交付金の決定、11月中旬に南日本新聞に鹿児島県の大半の市町村がこの交付対象と出たが、伊佐市は地方創生のために、どのようなものを応募したのか。</p> <p>(2) 伊佐市に仕事をつくり、安心して働けるようにする施策とは。</p> <p>(3) 伊佐市に新しいひとの流れをつくる施策とは。</p> <p>(4) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策とは。</p> <p>(5) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する施策とは。</p>	市長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	左近充 論議員	1 木質バイオマス発電所の建設について	(1) 雇用数や建設場所、規模は (2) 伊佐地区林業発展につながるか (3) 進入路の整備を (4) 搬入木材への補助金について	市長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	畑中 香子議員	1 TPP問題について	<p>(1) TPP交渉の内容が明らかになるにつれて、日本の農業に壊滅的な被害を与えるだけでなく、国民の食と安全、医療、地域経済とくらしに深刻な影響を及ぼす内容であることがはっきりしてきた。このことについて、見解を問う。</p> <p>(2) 現時点での伊佐市の農業に与える影響額ほどの程度か。今後の対策は。</p> <p>(3) TPPは批准をしないかぎり発効しない。各国の議会でも自国の利益のための要求が強まっている中、TPP妥結反対の声を上げるべきではないか。</p>	市長	
		2 水俣病問題について	<p>(1) 11月16日熊本地裁に提訴されている水俣病認定訴訟に11人の伊佐市民も参加され、今後も増える見込みである。市長の見解は。</p> <p>(2) 市民の中に水俣病と認定されずに苦しんでおられる方が多数存在していることがはっきりしているが、このような方々を掘り起こし、認定、治療が受けられるよう、施策を講じるべきではないか。</p> <p>(3) 水俣病に関わる国保財政への特別調整交付金を適切に受けるためにも取組をすすめるべきではないか。</p>	市長	
		3 子どもたちの教室にストーブを	<p>(1) すべての小・中学校の教室にストーブを設置して、学習環境を整えるべきではないか。</p> <p>(2) 大口南中の保護者が「子どもたちが学習しやすいように」と、PTA予算で購入し、各教室に設置していたヒーター・加湿器は、どのように取り扱われているのか。</p>	教育長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	森山 良和議員	1 将来を見据えた若者支援の必要性	<p>(1) 若い人たちが安心して進学・就職・生活できるよう、若者支援策の充実を図る必要があるのではないか。</p> <p>(2) 希望を持ち、夢を語り、住みよいまちだと実感してもらえる伊佐市でなくては、まちは衰退していく。まちの活性化には若い人たちの力が必要不可欠であり、次代を担う若い人たちへ積極的な支援を行ってほしい。考えを伺いたい。</p> <p>(3) 将来伊佐市に帰ってくる若者への受け皿づくりを、市全体で取り組むべきではないか。若者人口の減少に歯止めをかけ、維持・増加させるために、今後どのような施策を打ち出していくのか。</p>	市長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	市来 弘行議員	1 あと、ひと押しの「大口高校活性化」支援策は出来ないか	<p>県立大口高校の活性化を支援する「大口高等学校活性化基金」条例が制定されて、丁度一年が経過した。その主な内容は、①大学進学奨励金交付事業と②大手予備校と連携した特別講義の実施であった。</p> <p>教育現場となっている大口高校においても、その間さまざまな試みが実行に移され、地域の期待に応えたいとして、教職員・生徒が一つになって、懸命な努力が続けられている。進路についての実績も、着実にその成果が出てきているように思われる。</p> <p>だが、そうした努力が続けられている中、この条例制定の最大の目的の一つとなっている大口高校への「入学希望者増」ということに関しては、残念ながらまだそうした流れになっていないという現実もある。以下の諸点につき、見解をお聞きしたい。</p> <p>(1) この1年を、どのように評価、総括されておられるのか。又、今後に向けた課題があるとすれば、どのような点であるとお考えか。</p> <p>(2) 1学年3クラスを名実ともに確実なものとするためには、入学希望者を着実に増やしていくことが、極めて重要となる。と同時に、地域の進学校としての実績も、しっかりと積み重ねていかなければならない。</p> <p>そのための、一つの具体的な施策として、この活性化基金条例の施策事業の中に、「特別奨学生制度」創設の項を新しく設け、市内の中学生の中から、学業・人物ともに、特に優秀な生徒を、入試の始まる前に、学校長推薦のもと2名ずつ選考し、大口高校に入ってもらおうという制度は出来ないものであろうか。</p> <p>この制度が実現するとなれば、時を追って、大口高校全体のレベルアップ、又、地域教育環境の活性化に、必ずやつながってくるものと思われる。</p> <p>真剣に検討してみてはどうだろうか。</p>	市長 教育長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	諏訪 信一議員	1 子宮頸がんワクチンについて	<p>20歳から30歳代に急増する子宮頸がん。ウイルスに感染する可能性が低い10代前半に接種することで、より効果的に発症を予防できるとして、2009年12月にワクチンは販売され、2013年4月に予防接種法に基づく定期接種となった。この間、頭痛や倦怠感、関節痛、認知機能の低下などの健康被害が生じ、2013年6月厚生労働省が接種の積極勧奨を中止した。</p> <p>(1) 接種対象人数と接種人数は</p> <p>(2) 接種後体調不良を申し出た事例はないのか</p> <p>(3) 健康調査は実施されたのか</p> <p>(4) 県は被害者の相談窓口を開設したが、市の対応は</p>	市長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	中村 周二議員	1 定住促進について 2 文化活動について	<p>今までも定住促進のことで、一般質問をした。空き家対策、学校の寮のこと。伊佐に家を建てていただいて、住んでもらう。このことは、地方創生にもひっかける事ができると思う。今回は伊佐に家を建てて、住んでもらう方策等について伺う。</p> <p>湯之尾の神舞を見に行った。あいにくの雨だった。この神舞は、小学校、校区民、消防、みんなを巻き込んで練習して、文化を保存している。舞う人も年々変わりながら長年頑張っている。会場を見たときに、もう少し何とかならないかと思う。県の補助、又は市の補助等入れて会場を整備できないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	山下 和義議員	1 自治会未加入者対策について	<p>平成10年当時の旧大口市の自治会加入率は90%近くあった。旧菱刈町も多分それぐらいの加入率があったのではないかと思う。ただ、今の加入率は年々減少していると思われる。このまま手をこまねいていると益々悪くなっていくのではないか。</p> <p>(1) 自分たちの自治会だけではないと思うが、未加入者が分別しないごみを通りすがりに置いていき、それらのごみはステーションにそのまま置いてあるため自治会長等が1カ月に1回から2回分別している状況である。それらの対策についてどう考えるのか。</p> <p>(2) これからますます伊佐市は高齢化社会を迎える。災害等もある可能性があり、そのためにはコミュニティが重要になっていくのではないか。自治会加入者が少なくなっていくとそれらにも影響が出てくると思うがどうか。</p> <p>(3) 転居や転入時等の市の対策は十分か。保護者が未加入なため子どもたちが影響を受ける事もある。そのことに対してどう考えるか。</p> <p>(4) 自治会加入対策として「加入対策強化月間等」を設けて具体的に取組めないかお伺いしたい。</p>	市長 教育長	
		2 男女共同参画推進について	<p>人口減少時代の中、国は出生率を上げて人口減少を緩やかにしていくような施策をいろいろと掲げております。また、一方では女性の社会進出を促し、1億総活躍社会を目指そうとしております。そこで</p> <p>(1) 伊佐市の男女共同参画の具体的な取組内容を教えていただきたい。</p>	市長 教育長	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>(2) 真の男女共同参画社会の実現のためには、市や県等の公共機関は勿論のこと、市内の企業等が男性、女性を問わず育児休暇や介護休暇が取れ、それらに影響されることなく職場復帰ができる体制作りが求められていると思う。市内の企業等に対して、市としてどのような取り組みをしているのか、お伺いしたい。</p> <p>(3) 今後の国の施策等で、市として取り組まなければならないこと等について、伺いたい。</p> <p>(4) 今、職業等に関して男女の差は殆どない。大人だけではなく、児童・生徒等子どもたちにも、男女共同参画社会を理解させることがこれからは重要になってくるのではないか。教育現場での具体的な取り組み等があれば、教えていただきたい。</p>		

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	鶴田 公紀議員	<p>1 教育行政について</p> <p>2 ふるさと納税について</p>	<p>(1) 学力テストの結果について</p> <p>(2) 土曜いきいき講座の成果について</p> <p>(3) 九州交響楽団の視聴者の範囲について</p> <p>(4) 羽月北小の結論について</p> <p>(1) 件数と金額について</p> <p>(2) 返礼の品目等について</p> <p>(3) トップセールスの成果について</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p>	

平成27年第4回定例会一般質問

平成27年12月10日・11日・14日

(15枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	福本千枝子議員	1 納税方法について	<p>(1) 平成26年度(一般会計・国保・介護保険・後期高齢者医療)の歳入歳出決算において、多額の収入未済額・不納欠損額となっている。増加した要因は何か。</p> <p>(2) それぞれの会計で、未済額が時効となるのは何年か</p> <p>(3) 市税の特別徴収と普通徴収の割合は</p> <p>(4) 市税の特別徴収は12回に分け、納付することで、負担額が少なくて済む。普通徴収の市税、固定資産税、国保税、介護保険、後期高齢者医療の納期を増やせないか。</p>	市長	
		2 ふるさと納税について	<p>全国のふるさと納税(2015.4月～9月)が453億5,500万円で、前年同期より3.9倍に増加したと総務省が発表した。自治体別では都城市の13億3,300万円であった。本市の状況はどうか。</p> <p>(1) ふるさと納税額</p> <p>(2) ギフト商品の人気は</p> <p>(3) 使い道を選ぶ人が多いとある。本市の使い道は。</p>	市長	